

今、佐呂間の「がん検診」が危ない!!

胃がん検診

エックス線造影検査

空腹状態でバリウムを飲み、様々な角度から胃の内部をエックス線で撮影します。胃の内部の変化がわかるので、がんだけではなく潰瘍やポリープなどについても調べることができます。

肺がん検診

レントゲン検査

胸部エックス線写真を取り、2名以上の医師によって読影し、結果に応じて過去の写真と比較読影します。

喀痰検査(ハイリスクの方に実施)

自宅に容器を持ち帰り、朝起きてすぐの喀痰を3日分採取し、その痰の細胞を調べます。

乳がん検診

マンモグラフィ

乳房専用のエックス線撮影装置で、乳房をはさんで撮影します。手で触れてもわからない5mm以下の小さながんも発見できます。

視触診

医師が乳房にしこりや変化がないか視触診にて確認します。

乳がん検診のお知らせ

日程：3月2日(水)～3月3日(木)
 ※3日は午前中のみ
 会場：町民センター(3月2日)
 浜佐呂間活性化センター(3月3日)
 対象：40歳以上の女性
 申込締切：2月14日
 【申込・お問い合わせ】
 役場保健福祉課保健推進係 Tel. 2・1212

「ぼくの使命について」の巻

突然ですが、ぼく(メタモ)がなぜ広報に登場してるかご存知ですか？



実は、佐呂間町の皆さんの健康づくりをお手伝いするためなのです

特定健診PRキャラクターとして



でも自分のこととなると…

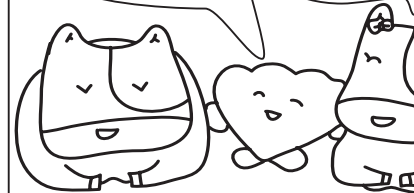


やめられないのよ…

こんなぼくですが皆さん一緒に頑張りましょう。

私も応援するわ。

応援するよ。



受けてますか？「がん検診」

佐呂間町では胃・肺・大腸がん検診、乳がん・子宮がん検診の5種類のがん検診を行っています。多くの方が受けやすいよう市街・若佐・浜佐呂間の3地区で実施していますが、近年検診機関の医師派遣状況の変化、あるいは受診者数の減少などが影響し、今までのような体制でがん検診を続けることが難しくなっています!!

佐呂間町の死因トップは『がん』

平成21年の佐呂間町の死因のトップは「がん」です。これは北海道全体、日本全体で見ても同じ結果となっています。2人に1人は「がん」になると言われている昨今、多くの方が「がん」に罹る可能性があります。しかし、「がん」で命を奪われるかどうかは、発見される状態によって大きく左右されます。早期に発見できれば治る可能性が高く、完治まではいかなくても治療により日常生活での支障を最小限に抑えることも可能です。

では、どうすれば早期発見できるのでしょうか？乳がんのように自己触診にて自分自身で乳房のしこりに気づき発見される場合もありますが、自覚症状がない場合、早期の「がん」を発見するためには「がん検診」が最も有効です。しかし、佐呂間町で行っているがん検診の受診者は年々減少しています。

佐呂間町がん検診受診者数の変化

佐呂間町の過去の検診受診者数と昨年の受診者数の変化を見てみましょう(資料1)。どのがん検診も受診者数が減っており、最も極端なものは半数近くまで減っています。人口が減れば受診者ももちろん減りますが、それ以上に「検診離れ」が進行していることも否めません。特にがんの発症が増える40歳以降の方は、ぜひ、がん検診を受けていただきたい年代でもありますが「検診を受けて悪いものが発見されたら嫌だ」「検診を受けて引っかけたらしつこく連絡が来る」などの理由で受けていないという声も聞かれます。

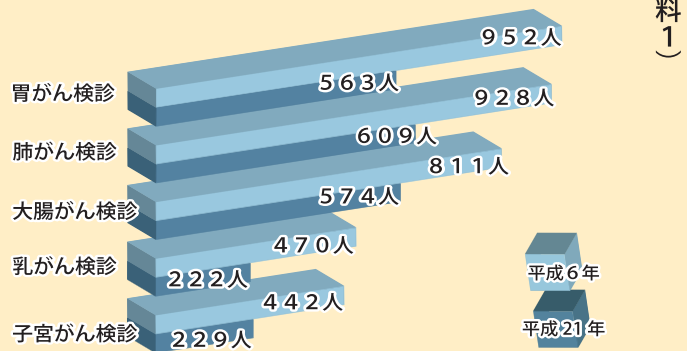
佐呂間町では2つの検診機関にがん

自分の健康考えるなら「がん検診」

不治の病だと言われていた「がん」が今では治る病気になっています。大きな手術をしなくても、部分的な切除で元気になっている方も多く見られます。がんを早期に発見できた人は、ただ単に「運が良かった」わけではなく、自分自身の体や、健康に関心を持っていたことが大きく影響していると思います。

医学の進歩によって、昔に比べて本当に薬に検査ができるようになりました。ぜひ、皆さんも自分の体に関心を持ち、自分の体の中にがんが潜んでいないかどうかチェックしてください。そのためには、多くの住民の方々に身近に利用できるがん検診を活用していただきたいと思います。

佐呂間町がん検診受診者数の変化



子宮がん検診

子宮頸がん検診

子宮頸部を綿棒かへらでこすって検体を採取し、ガラス板に塗布して染色し顕微鏡で調べ、細胞の変化を見ます。

子宮体部がん検診(ハイリスクの方に実施)

子宮の中に、細い管を挿入して内膜の細胞を採取し、顕微鏡で調べます。

大腸がん検診

便潜血反応検査

自宅にて、2日分の便を容器に採取します。その便の中に血液が混入していないかどうかを検査し、陽性の場合にはさらに詳しい検査を受けます。